

＝令和4(2022)年度 秋季市民体育祭中学校サッカー競技(MFA 新人杯)における＝
新型コロナウイルス(COVID-19)感染予防ガイドライン

2022-9 松本市サッカー協会三種委員会

1 感染対策責任者について

主管責任者である、松本市サッカー協会三種委員長、塚田道彦氏がこれにあたる。

本指針の責任者設置にあたっては、(一社)長野県サッカー協会の「新型コロナウイルス対応 NFA サッカー活動ガイドライン」に基づく。

2 感染予防対策の具体 (主語は主として指導者)

(1) 大会前日まで

- ①一人ひとりが日常的に感染予防を心がける。
- ②選手・指導者は毎日の検温及び健康チェックを行い、体調不良の場合は登校及びトレーニング参加に配慮する。
- ③指導者は各郡市における中学生期のスポーツ活動指針に基づき、天候に応じたトレーニングに配慮する。
- ④選手・指導者に陽性反応者が出現した場合、チームの出場可否については、校長判断とする。

(2) 大会前日

- ①参加予定選手一人ひとりの健康状況を把握する。
- ②当日日程や注意点、会場までの往復方法等を、選手・保護者に確認、徹底させる。
- ③上記(1)④の状況が前日に発生した場合も同様である。

(3) 大会当日

- ①各学校で使っている健康チェックカードを持参し、必ず検温をして顧問が朝確認の上参加させる。
- ②外部コーチ、部活動指導員、帯同審判等の方々も検温をしていただき、体調が悪い場合は参加を控えていただく。
- ③チーム・運営者のミーティングは、換気が可能な場所において選手や指導者が社会的距離をとれる程度の密集しすぎない場所や、飛沫飛散防止の配慮をすると共に、短時間で行うよう努める。
- ④開閉開式は行わない。表彰は代表者のみとし、短時間で簡略化する。
- ⑤集合・解散時刻は、試合時刻に合わせて各チームで計画を立て、不要な滞在をしない。(試合開始の1.5～2時間前程度が望ましい。)
- ⑥感染警戒レベルによっては無観客試合とする場合がある。その場合、保護者や学校関係者であっても、観戦を禁止する。観戦が許可されている場合も、マスクの着用・社会的距離の確保・声を出しての応援禁止等に配慮すること。
- ⑦試合に出場していない部員も、声を出しての応援はしない。
- ⑧試合を行っていない時間、試合中もプレーに関わっていない選手、指導者(ベンチ内等)は原則マスクを着用する。
- ⑨試合開始前のセレモニーでの握手・ハイタッチ等を行わない。
- ⑩円陣を組む場合は、肩を掛け合ったり手をつないだりすることは控える。選手間約1mの間隔を意識する。
- ⑪ピッチサイド及びベンチにおける給水は共用を避けるため、スクイズボトル・水筒は個人で用意する。
- ⑫当日の会場管理者と相談の上、手指消毒ボトルの設置や会場トイレ、ベンチ、本部内の机や椅子等の消毒作業を補助する。また、紙タオルやゴミ処理袋等も準備する。

(4) 大会事後

- ①事後3日以内に体調不良(発熱・倦怠感・味覚、臭覚異常等)が認められた者(選手・指導者)に注視し、報告事項と判断した場合は競技運営委員長に報告する。上記(1)④の場合も同様である。
- ②大会反省事項があれば、競技運営委員長に上申すると共に、上記(1)①～③に引き続き取り組む。

3 その他

- (1)本文書は、大会前に校長・選手・保護者に配布し周知する。
- (2)意見や要望があれば、顧問経由で感染対策責任者に連絡する。

【感染対策責任者】
<松本市サッカー協会三種委員長>
塚田 道彦